

最高賞「装いの女王」に輝いた高橋瑠花さん(中央) ー全日本きものコンサルタント協会提供



「装い」麗し初の女王

花巻市板内の高橋瑠花さん(花北青雲高3年)は、全日本きもの装いコンテスト(全日本きものコンサルタント協会主催)の振り袖部門に東北代表として出場し、女性3部門を通じた最高賞「装いの女王」に選ばれた。高校入学後に通い始めた着物教室で学んだ技と心を発揮。初出場で日本一に輝いた喜びを励みに、道を究めていく。

コンテストは東京都内で9日開かれ、東北、関東、東海・中部、関西、沖縄の予選大会を突破した144人が出場。振り袖、留め袖、カジュアル、男性、子ども、外国人、学校対抗の7部門で、自分

全日本きものコンテスト

花巻の高橋さん(花北青雲高)

自身を装う手際などを競った。振り袖部門は31人が出場。第1次審査は鏡のない状態で着装技術、帯結びの仕上げ、手さばきなどをチェック。21人が進んだ第2次審査は「着物と私」をテーマに考えを述べるスピーチが課せられた。着装は最短4分台で仕上げられる人も、高橋さんは6分台で目標タイムに届かなかったが

「舞台から目が合った人にニコッと笑いかけたりして楽しかった。(腰の上で折り上げる)おはしよりの部分に仕上がらないように丁寧に仕上げた」とマイペースを貫いた。高橋さんは同市内の着物教室で土日の夕方に指導を受けてきた。姉2人が通っていた影響で高校1年から通い始めた3年目。「最高賞は自分一人の力ではなく、先生や姉のお



表彰状を手に喜びを分かち合う高橋瑠花さん(右)と講師の鎌田美代子さん

「丁寧に」道探究

かけ。今後も続けて、次は人に着せる技術を学びたい」と将来像を描く。高校ではパソコンで10分間に打ち込む文字数を競うOA部に所属。ビジネス文書検定1級も取得した頑張り屋だ。

着物教室講師の鎌田美代子さん(58)は「普段から周りに流されず一歩一歩学ぼう。着物の世界は奥が深く、この経験が次のステップにしてほしい」と祝福した。